様式3

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

施設名	高松市文化芸術ホール

指定管理者	公益財団法人高松市文化芸術財団	施設所管課等	文化芸術振興課
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）	公募・非公募の別	非公募
所在地	高松市サンポート2番1号	業務の概要	○施設の維持管理・運営業務 ・ホール(大ホール・第1小ホール・第2小ホール)の貸出 ・会議室(12)、リハーサル室(3)、練習室(6)、和室等の貸出 ・上記貸出施設の利用料の徴収に関する業務等 ○財団主催事業の企画・実施 ・自主事業(主催(補助)8・主催(独自)1・共催9)の実施等 ・文化芸術振興事業の受託(アーツフェスタ、学校巡回芸術・能楽教室、デリバリーアーツ)
施設の概要	【施設】 鉄筋コンクリート造　地下2階・地上7階建(免震構造) 【職員の状況】 常務理事1人、嘱託職員23人、パートタイム職員3名 【使用時間】 9:00-22:00(9:00-23:00、リハーサル・練習室)　年末年始は休館		

	項目名	令和7年度	令和6年度	項目名	令和7年度	令和6年度
利用状況等	利用者数	291,026　人	289,751　人	ホール稼働率	81.8　%	73.7　%
	自主事業開催数	18	20	会議室・練習室等稼動率	69.6　%	61.9　%
	自主事業入場者数	17,454　人	19,540　人			
収支状況等	収入総額	562,527　千円	533,253　千円	支出総額	529,391　千円	557,837　千円
	(うち指定管理料)	366,847　千円	357,475　千円	清算額(市へ戻入分)	2,525　千円	0　千円
	施設使用料収入	129,540　千円	111,463　千円		千円	千円

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理 ②-1個人情報の保護・情報公開 ②-2環境への配慮	関連法令や高松市個人情報の保護に関する法律施行条例等の遵守を第一に、施設の運営、維持管理を実施した。 また、「高松シンボルタワー共同防火・防災管理協議会」の構成員として、火災総合訓練や地震火災総合訓練に積極的に参加するなど、危機管理体制の強化に努め、安全安心な施設運営に取り組むとともに、環境に配慮し徹底したゴミの分別リサイクルを行った。	B
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性 ②平等な利用の確保	7期目となる指定管理期間の初年度となることから、より一層、利用者サービスの向上に心がけながら、快適で安全・安心な貸館施設の提供に努めた。事業計画に基づき、利用者の公平性、平等性確保に重点を置き、利用者の安全確保とサービス向上を最優先に取り組み適正かつ効率的な施設運営に努めた。	B
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策 ②広報・PR対策 ③企画事業・自主事業 ④市・関係団体・地域等との連携 ⑤サービス向上の取組 ⑥相談・苦情への対応	大ホールに新たに設置したスタインウェイとカワイのフルコンサートグランドピアノを活用した演奏体験会等を開催し、当ホールの魅力を広く市民にPRしたほか、共催事業として、高松国際ピアノコンクールや劇団四季ミュージカルこころの劇場など多彩な公演を開催することで、市民に優良な文化芸術を鑑賞する機会を提供した。 また公演事業に加え、ワークショップを2件実施し、参加・体験型の事業展開を図ったところ、参加者アンケートでは満足度の高い評価を得るとともに、施設利用のきっかけづくりや地域における文化活動の充実につながる取り組みとなった。	B
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等 ②教育・研修 ③就業規則等の遵守 ④施設運営の健全性の確保(経営状況の確認を含む) ⑤損害保険等 ⑥収支計画と執行管理	採用計画に基づき必要な人員補充を行い、安定した管理運営体制の維持に努めるとともに、顧客応対力向上研修やアートマネジメント研修などへの参加を通じ、職員の資質の向上に取り組んだ。 また、香川県立アリーナの施設と取り組みについて視察を行い、利用者サービス向上に向けた情報収集と工夫について学んだ。 就業規則をはじめとする関係法令や社内規程を遵守し、適正な労務管理に努めた。職員に対して規程内容の周知を図るとともに、勤務管理や休暇取得等について適切に運用し、働きやすい職場環境の維持に取り組んだ。 令和7年度決算については、人件費や光熱水料費等の増嵩があった一方で、全国高等学校総合文化祭や高松国際ピアノコンクールなどの大型イベントの利用などにより、施設利用料収益が増加し、会計全体としては、3,300万円余の黒字となった。	B
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費 ②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点 ③経営の効率化 ④合理的な会計制度	チケットの販売や施設利用促進など広報・PR等を通じて行い収入確保に向けた取組を実施した。 消耗品費・委託費等の管理を徹底するとともに、業務の効率化や計画的な支出により運営経費の節減に努めた。 勤務体制については、貸館施設が年末年始を除き午前9時から午後11時までの開館となっていることから、夜間業務の外部委託による職員数の抑制、経費縮減を図る中で、1か月単位の変形労働時間制を採用している。 各部門において業務プロセスの標準化を図り、属人化や業務のバラつきを抑え、組織全体の生産性と対応力を高めた。 生じた余剰金については、今後の施設修繕や設備維持、物価高騰による経費増加への対応など、施設の適切な管理運営と利用者サービスの向上に活用する。	B

総合評価コメント	総合評価
指定管理者として高松市文化芸術ホールの利用者に対して公正・公平な施設利用の提供に努めるとともに、火災訓練に積極的に参加するなど危機管理体制の強化を図り、安全・安心な施設運営に取り組んだ点は評価できる。加えて、大ホールに新たに設置したスタインウェイとカワイのフルコンサートグランドピアノを活用した演奏体験会等を開催し、当ホールの魅力を広く市民にPRするなど、自主事業を通じた文化芸術の振興にも取り組んでいる。また、コスト削減や組織のスリム化を進めている一方、断続的な欠員や正規職員・専門職員の不在により、継続的かつ専門的な事業展開に課題があることから、安定した組織体制の構築に向けた取り組みを期待したい。 令和7年度は、全国高等学校総合文化祭や高松国際ピアノコンクールなどの大型イベントの利用により利用料収入が増加し、黒字を計上することができた。一方で、利用料収入についてはなお改善の余地があり、指定管理業務及びそれに伴う収入以外の財源を有していないことから、今後の安定的な財団運営に向けて、経営体制と併せて事業全体を見直し、計画的かつ持続可能な経営を図る必要がある。 引き続き、質の高い取り組みを進めるとともに、変化する市民ニーズを的確に捉え、より戦略的な方針の下で主体性を持った施設運営に取り組むことを期待したい。	B